第3項 小 括

部位 時間	前 上 部	後 上 部	前 下 部	後 下 部
6 時 間	粘膜層全層脱落	粘膜層大部分脱落	粘膜層大部分脱落	粘膜層大部分脱落
12 "	粘膜層全層脱落	粘膜層全層脱落	粘膜層全層脱落	粘膜層全層脱落
24 "	固有層大部分脱落 皮膚層一部脱落 穿孔直前	固有層と皮膚層の 結合鬆粗 固有層一部脱落	固有層と皮膚層の 結合鬆粗	固有層と皮膚層の 結合鬆粗
2 日	固有層大部分脱落 皮膚層一部脱落 穿孔直前	固有層と皮膚層の 結合鬆粗	固有層と皮膚層の 結合鬆粗	固有層と皮膚層の 結合鬆粗
4 "	固有層)大部分脱落 皮膚層)大部分脱落 穿孔直前	固有層)大部分脱落 皮膚層)大部分脱落 穿孔直前	固有層)一部脱落 皮膚層)	固有層一部脱落
7 "	穿 孔	穿 孔	固有層大部分脱落	固有層大部分脱落
10 "	穿 孔	穿 孔	固有層)大部分脱落 皮膚層)	固有層)大部分脱落 皮膚層)大部分脱落 穿孔直前

K. KUSUOKA, M.D.: EXPERIMENTAL STUDIES PERTAINING
TO THE RESISTANCE OF EACH PART OF THE
EAR DRUM AGAINST INFLAMMATION

炎症に於ける鼓膜各部の抵抗に関する
実験的研究 (第1編 其2)

大阪大学医学部耳鼻咽喉科教室 (主任 山川強四郎教授)

医 学 士 楠 岡 一 雄
ク ス オ カ ズ オ

第3節 骨胞に小孔を作つて中耳腔に
注入した場合

第1項 実験方法

成熟海獅の耳後部に約 2.5 cm の皮膚切開を加え軟部組織を剝離して骨胞を露出し、該部に直徑約 2mm の小穿を作つた。該孔より骨胞中に 1/4 針を接続したツベルクリン注射器で 1% 石炭酸溶液 0.2 cc を隔日 1 回定時間に注入し皮膚縫合を行つて術を終つた。注入期間は 6 時間、12 時間、24 時間、2 日、4 日、7 日とし、注入終了後の操作は第1節の実験方法に準じた。

第2項 実験成績

1) 6 時間注入標本

後下部：粘膜層は鼓膜輪附近に痕跡的に存する。固有層は滲出液により疎となり多核白血球の浸潤出血著明で肥厚は軽度である。皮膚層は鼓膜輪附近に於て特に肥厚し組織は疎となり、固有層との結合が疎である。

後上部：粘膜層は脱落して認められない。

固有層は滲出液により疎となり著しく肥厚し多核白血球の浸潤出血著明で、最内層の一部が脱落して居る。皮膚層は鼓膜輪附近で特に出血が著明で多核白血球の浸潤が認められ肥厚し、固有層との結合が疎である。

前下部：粘膜層は鼓膜輪附近に痕跡的に存する。固有層は疎となり肥厚し多核白血球の浸潤出血著明で、單相の像を呈する帶狀の層が中央部に認められる。皮膚層は鼓膜輪附近で特に著しく肥厚し出血、多核白血球の浸潤強度で脱落直前の状態にある。

前上部：粘膜層は脱落して認められない。

固有層は出血が強度で多核白血球の浸潤纖維素の沈着が認められ著しく肥厚し、鼓膜輪附近で一部脱落して居る。皮膚層は肥厚軽度で出血、多核白血球の浸潤があり固有層との結合が疎である。

2) 12 時間注入標本

後下部：粘膜層は鼓膜輪附近に痕跡的に存する。固有層は鼓膜輪附近では疎になつて居るが全体として肥厚軽度で、出血多核白血球の浸潤繊維素の沈着が認められる。皮膚層は出血、多核白血球の浸潤が認められ肥厚は軽度である。

後上部：粘膜層は脱落して認められない。固有層は鼓膜輪附近で著しく疎となり出血多核白血球の浸潤が認められ一部脱落して居る。

皮膚層は固有層との結合が疎となり多核白血球の浸潤出血はあるが肥厚は軽度である。

前下部：粘膜層は脱落して認められない。固有層は肥厚軽度で多核白血球の浸潤あり特に出血が著明である。単相の壊死の像を呈する所もある。皮膚層は固有層との結合が疎となり出血が矢張り著明で多核白血球の浸潤がある。

前上部：粘膜層は脱落して認められない。固有層は著しく肥厚し出血が著明で単相の壊死の像を呈し、一部脱落して居る。皮膚層は肥厚中等度で矢張り出血多核白血球の浸潤があり、固有層との結合が疎になつて居る。

3) 24 時間注入標本

後下部：粘膜層は鼓膜輪附近に痕跡的に存する。固有層は疎となり出血多核白血球の浸潤弱度で肥厚は軽度である。皮膚層は固有層と全く離断し脱落直前の状態にある。皮膚層と固有層との間に滲出液の滲出著明で多核白血球の浸潤出血が認められる。

後上部：粘膜層は脱落して認められない。固有層は著しく肥厚し組織は疎になつて居る出血、多核白血球の浸潤著明で一部脱落して居る。皮膚層は鼓膜輪附近では少々肥厚し、その他の部では固有層との結合が疎になつて居る。

前下部：粘膜層は脱落して認められない。固有層は肥厚軽度が出血、多核白血球の浸潤著明で単相の壊死の像を呈する所もある。皮膚層は著しく肥厚し固有層との結合疎となり、脱落直前の状態にある。

前上部：粘膜層は脱落して認められない。固有層は著しく肥厚し出血多核白血球の浸潤著明で、鼓膜輪附近で脱落して居る。皮膚層は鼓膜輪附近で肥厚著しくその他の部では肥厚軽度である。固有層との結合が疎で一部脱落して、鼓膜輪附近で穿孔直前の状態にある。

4) 2 日間注入標本

後下部：粘膜層は脱落して認められない。固有層は多核白血球の浸潤著明で出血も所々に認められ組織は疎となり一部脱落して居る。皮膚層は鼓膜輪附近では著しく肥厚し出血多核白血球の浸潤強度で、その他の部では脱落して居る。

後上部：粘膜層は脱落して認められない。固有層は繊維素の沈着、出血、多核白血球の浸潤著しく単相の像を呈する部分もあり、一部脱落し鼓膜輪附近で穿孔直前の状態にある。皮膚層は鼓膜輪附近で著しく肥厚し固有層との結合が疎で、その他の部では脱落して居る。

前下部：粘膜層は脱落して認められない。固有層は著しく疎となり中央部に帯狀の單相の層を認め一部脱落して居る。皮膚層は鼓膜輪附近で著しく肥厚しその他の部では原形を留めず多核白血球の浸潤強度で脱落して居る所もある。

前上部：粘膜層は脱落して認められない。固有層は鼓膜輪附近で特に多核白血球の浸潤出血著明で組織は疎となり一部脱落し、鼓膜輪附近で穿孔直前の状態にある。皮膚層は鼓膜輪で脱落消失しその他の部では著しく肥厚して居る。

5) 4 日間注入標本

後下部：粘膜層は脱落して認められない。固有層は鼓膜輪附近だけ著しく肥厚し出血多核白血球の浸潤著明で、その他の部では帯狀の單相の層を除き大部分脱落して居る。皮膚層は鼓膜輪附近のみ肥厚して居るがその他の部は脱落して居る。

後上部：粘膜層は脱落して認められない。

固有層は鼓膜輪附近のみ残存しその他の部では帯狀の單相の層を残して壊死に陥り脱落して居る。一部に於て此の層も離断し穿孔して居る。皮膚層は一部壊死に陥り脱落して居る。

前下部：粘膜層は脱落して認められない。固有層は鼓膜輪附近で著しく肥厚し多核白血球の浸潤出血纖維素の沈着著明で、その他の部では帯狀の單相の層を除き壊死に陥り脱落して居る。皮膚層も同じく鼓膜輪附近にのみ痕跡的に残存して居る。

前上部：粘膜層、固有層、皮膚層共壊死に陥り穿孔して居る。

6) 7日間注入標本

後下部：粘膜層は脱落して認められない。

固有層は帯狀の單相の層のみを残して脱落しその層も一部では離断し穿孔して居る。皮膚層は壊死に陥り脱落して居る。

後上部：粘膜層は脱落して認められない。固有層は矢張り帯狀の單相の層を有するが一部離断し穿孔して居る。皮膚層は全く脱落して認められない。

前下部：粘膜層は脱落して認められない。固有層、皮膚層共後上部の夫と同じ所見を呈し穿孔して居る。

前上部：粘膜層は全く脱落して認められない。固有層は帯狀の單相の層を有するが一部離断して穿孔して居る。皮膚層は脱落して存在しない。

第3項 小 括

部位 時間へ	前 上 部	後 上 部	前 下 部	後 下 部
6 時 間	粘膜層全層脱落 固有層と皮膚層の 結合鬆粗	粘膜層全層脱落 固有層と皮膚層の 結合鬆粗	粘膜層痕跡的に 残存	粘膜層痕跡的に 残存
12 "	固有層一部脱落	固有層一部脱落	粘膜層全層脱落 固有層と皮膚層の 結合鬆粗	粘膜層痕跡的に 残存
24 "	固有層) 一部脱落 皮膚層)	固有層一部脱落	固有層と皮膚層の 結合鬆粗	固有層と皮膚層の 結合鬆粗
2 日	固有層) 一部脱落 皮膚層) 穿孔直前	固有層) 一部脱落 皮膚層) 穿孔直前	固有層) 一部脱落 皮膚層)	固有層) 一部脱落 皮膚層)
4 "	穿 孔	穿 孔	固有層) 大部分脱落 皮膚層)	固有層) 大部分脱落 皮膚層)
7 "	穿 孔	穿 孔	穿 孔	穿 孔

第2章 炭酸ソーダ溶液を 使用した場合

第1項 実験方法

成熟海狸の中耳腔に第1章第3節の実験方法に準じて5%炭酸ソーダ溶液の注入を行つた。注入期間は6時間、12時間、24時間、2日、4日、7日、10日とし、注入終了後の操作は第1章第1節の実験方法に準じた。

6~9

第2項 実験成績

1) 6時間注入標本

後下部：粘膜層は脱落して認められない。固有層、皮膚層共炎症々狀軽度で肥厚も殆どない。

後上部：粘膜層は脱落して認められない。固有層は鼓膜輪附近では滲出液の滲出によつ

て軽度の肥厚を認め組織は疎である。皮膚層も鼓膜輪附近で軽度の肥厚を示す。皮膚層と固有層との結合が鼓膜輪附近で疎になつて居る。

前下部：粘膜層は脱落して認められない。固有層及び皮膚層共炎症々状軽度で肥厚も殆どない。

前上部：粘膜層は脱落して認められない。固有層は鼓膜輪附近で組織は疎となり軽度の肥厚がある。皮膚層も同部で肥厚して居る。固有層と皮膚層との結合が鼓膜輪附近で疎になつて居る。

2) 12時間注入標本

後下部：粘膜層は脱落して認められない。固有層は出血、多核白血球の浸潤があり組織は疎となり肥厚強度である。中央部に帯狀の單相の層を認める。皮膚層も同様肥厚して居るが鼓膜輪を除き多核白血球の浸潤出血は殆どない。

後上部：粘膜層は脱落して認められない。固有層、皮膚層は後下部の夫と全く同じ変化を示して居る。

前下部：粘膜層は脱落して認められない。固有層は著しく肥厚し多核白血球の浸潤出血、纖維素の沈着があり、中央部に帯狀の單相の層を認める。皮膚層は固有層に比し肥厚軽度で多核白血球の浸潤出血も少ない。

前上部：粘膜層は脱落して認められない。固有層は鼓膜輪附近では肥厚して纖維素の沈着を認めるがその他の部分では多核白血球の浸潤出血著明で、一部壊死に陥り脱落して居る。皮膚層は滲出液の滲出著しく組織は疎となり肥厚して居るが多核白血球の浸潤出血は殆どない。

3) 24時間注入標本

後下部：粘膜層は脱落して認められない。固有層は多核白血球の浸潤著しく肥厚強度で

組織は疎になつて居る。皮膚層も鼓膜輪附近で著しく肥厚し多核白血球の浸潤出血認められ一部脱落して居る。

後上部：粘膜層は脱落して認められない。固有層、皮膚層共肥厚強度で特に出血が著しく各層共一部脱落して居る。鼓膜輪附近では固有層と皮膚層の間に多核白血球の浸潤出血が著明である。

前下部：粘膜層は脱落して認められない。固有層は鼓膜輪附近では帯狀の單相の層より中耳腔側の部分は脱落して居る。その他の部では著しく肥厚し多核白血球の浸潤出血が著明である。皮膚層は滲出液の滲出著しく肥厚強度で出血多核白血球の浸潤を認め一部脱落して居る。

前上部：粘膜層は脱落して認められない。固有層皮膚層は特に鼓膜輪附近で肥厚著しく組織は疎となり著明な出血多核白血球の浸潤がある。両層共一部脱落して居る。

4) 2日間注入標本

後下部：粘膜層は脱落して認められない。固有層は鼓膜輪附近で特に肥厚強度で滲出液の滲出著しく多核白血球の浸潤出血があり、一部脱落して居る。皮膚層も鼓膜輪附近で同じく肥厚し組織は疎となり多核白血球の浸潤出血著しく、一部脱落して居る。

後上部：粘膜層は脱落して認められない。固有層は後下部と同じく鼓膜輪附近で肥厚し、中央部に帯狀の單相の層を認める。一部脱落して居る。皮膚層も鼓膜輪附近で著しく肥厚し一部脱落して居る。

前下部：粘膜層は脱落して認められない。固有層は鼓膜輪附近では滲出液の滲出著しく肥厚強度で多核白血球の浸潤出血がある。矢張り帯狀の單相の層を認め一部脱落して居る。皮膚層は固有層と同じく鼓膜輪附近で著しく肥厚し一部脱落して居る。

前上部：粘膜層は脱落して認められない。固有層は同じく鼓膜輪附近で肥厚し一部脱落して居る。皮膚層も同じ所見を呈して一部脱落して居る。

5) 4日間注入標本

後下部：粘膜層は脱落して認められない。固有層は中央部の帯狀の單相の層を除き大部分壊死に陥り脱落して居る。皮膚層は鼓膜輪附近で著しく肥厚し多核白血球の浸潤出血があり、その他の部では壊死に陥り脱落して居る。

後上部：粘膜層は脱落して認められない。固有層は後下部の固有層と同じく帯狀の單相の層以外は総て脱落して居る。皮膚層は鼓膜輪附近で一部壊死に陥り脱落して居るがその他の部では全層壊死に陥り脱落して居る。穿孔直前の状態にある。

前下部：粘膜層は脱落して認められない。固有層は鼓膜輪附近のみ痕跡的に残存し、その他の部では帯狀の單相の層を除き全層脱落して居る。皮膚層も鼓膜輪附近のみ肥厚した原形を痕跡的に留めて居るに過ぎない。

前上部：粘膜層は脱落して認められない。固有層は鼓膜輪より帯狀の單相の層を除き全層脱落して居る。皮膚層は鼓膜輪附近で滲出液の滲出甚しく、肥厚して痕跡的に残在し、その他の部では壊死に陥り脱落して居る。穿孔直前の状態にある。

6) 7日間注入標本

後下部：粘膜層は脱落して認められない。固有層は帯狀の單相の層を除き全層壊死に陥り脱落して居る。皮膚層は鼓膜輪附近のみ痕跡的に残存しその他の部では脱落して居る。

後上部：粘膜層は脱落して認められない。固有層は鼓膜輪附近では矢張り帯狀の單相の層を認めるがその他の部では一部此層も離断して居る。皮膚層は鼓膜輪附近に痕跡的に残存して居るに過ぎない。

前下部：粘膜層は脱落して認められない。固有層は細い帯狀の單相の層を除き全層壊死に陥り脱落して居る。皮膚層は鼓膜輪より全層壊死に陥り脱落して居る。

前上部：粘膜層は脱落して認められない。鼓膜輪附近で固有層、皮膚層共完全に壊死に陥り脱落し穿孔して居る。その他の部では固有層に帯狀の單相の層が認められる。

7) 10日間注入標本

後下部：粘膜層は脱落して認められない。固有層は帯狀の單相の層が脱落直前の形で残存して居る。その他は全層壊死に陥り脱落して居る。皮膚層は鼓膜輪附近では著しく肥厚して存在するが、その他の部では全層壊死に陥り脱落して居る。穿孔直前の状態にある。

後上部：粘膜層は脱落して認められない。固有層は鼓膜輪附近のみ肥厚して存する。皮膚層は鼓膜輪より少々下部にかけて肥厚して残存して居る。中心部近くで両層共全層脱落し穿孔して居る。

前下部：粘膜層は脱落して認められない。固有層は帯狀の單相の層を除き全層壊死に陥り脱落して居る。皮膚層は鼓膜輪より全層脱落して居る。穿孔直前の状態にある。

前上部：粘膜層は脱落して認められない。固有層、皮膚層共鼓膜輪附近では強い炎症々状を呈して残存して居るが、それより下部は両層共完全に壊死に陥り脱落し穿孔して居る。

第4項 小 括

部位 時間	前 上 部	後 上 部	前 下 部	後 下 部
6 時 間	粘膜層全層脱落 固有層と皮膚層の 結合鬆粗	粘膜層全層脱落 固有層と皮膚層の 結合鬆粗	粘膜層全層脱落	粘膜層全層脱落

12 "	固有層一部脱落	粘膜層全層脱落	粘膜層全層脱落	粘膜層全層脱落
24 "	固有層(皮膚層)一部脱落	固有層(皮膚層)一部脱落	固有層(皮膚層)一部脱落	固有層(皮膚層)一部脱落
2 日	固有層(皮膚層)一部脱落	固有層(皮膚層)一部脱落	固有層(皮膚層)一部脱落	固有層(皮膚層)一部脱落
4 "	固有層(皮膚層)大部分脱落 穿孔直前	固有層(皮膚層)大部分脱落 穿孔直前	固有層(皮膚層)大部分脱落	固有層(皮膚層)大部分脱落
7 "	穿 孔	穿 孔	固有層(皮膚層)大部分脱落	固有層(皮膚層)大部分脱落
10 "	穿 孔	穿 孔	固有層(皮膚層)大部分脱落 穿孔直前	固有層(皮膚層)大部分脱落 穿孔直前

Y. HIROKAMI, M.D.: CASE OF PANMYELOPHTHISIS

汎 骨 髓 癆 の 1 例

並に本症とアグラヌロチーゼとの関係について

新潟医科大学耳鼻咽喉科教室 (主任 鳥居教授)

廣 神 良 彦
ヒロ ガミ ヨシ ヒコ

1. 緒 言

アグラヌロチーゼなる疾患はアンギナ・アグラヌロチチカなる別名で呼ばれるほど咽喉の変化が著明で古くから咽頭の疾患として記載されている。私はここにその類縁疾患で、それとの異同さえ問題である所の汎骨髓癆の1例を報告し、アグラヌロチーゼとの関係にも論及し諸賢の批判を仰ぎたいと思う。

2. 症 例

a) 病歴 患者：大〇ヒサ 53歳，女。

昭和23年9月23日右足関節を捻挫し、医療を受けていた所、9日後(10月2日)の早朝に突然悪寒と共に発熱し(39.5°C 齒齦出血があつた。その量はさほど多からず、持続的に上歯齦に凝血塊が附着している程度であつた。2-3日後に至つて更に口内痛と咽頭痛が加わつたので、某医を訪れ10月9日に

当科に紹介入院した。その前から顔面がひどく蒼白であつたが、何時からそうなつたかハッキリしない。

b) 入院時所見

体格中等、栄養や悪く皮膚及び粘膜は著しく蒼白、皮膚に溢血斑、発疹、黄疸等はない。体温39.2°C、脈搏120、緊張可。

両側顎下部に豌豆大の淋巴節1個を触れるのみで他に淋巴節を触れない。左右頸部に独樂音が著明に聴かれる。胸骨に圧痛がある。心悸亢進し心尖部で収縮音不純。その他の胸腹部臓器に異常は認められない。下肢には軽度の浮腫がある。

局所々見：口臭著明で上歯齦は一帯に凝血塊で被われ、口中に絶えず少量の出血がある。左の頬部粘膜に汚穢な苔被で被われた潰瘍があり、その周辺に硬結を触れる。硬口蓋にも2-3個の小さい潰瘍が見られる。右口蓋扁桃の上極も壊疽に陥り灰白色